
ゾンビ映画のように

並盛りライス

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

ゾンビ映画のよつに

【Z-コード】

Z6214M

【作者名】

並盛りライス

【あらすじ】

彼女の笑顔は写真には決して写らない。

僕はゾンビのように彼女を追い回して、カメラで捕らえようとする。

嫌がる彼女にレンズを向ける事を趣味としている僕は、日の光を浴びると溶けて無くなるゾンビの執拗さで彼女を追いかける。

太陽の光に弱いのはゴーストだったかもしれないが、そこは曖昧だ。

本気で嫌がつている彼女は本当に心底嫌がついて、それに気づく瞬間だけ僕は哀しい。

けれど絶対に手を緩めてやらない。

「まつてよ

「いや、止めてよ」

彼女の無垢な魂はもう何回奪われたのだろう。

「いやだつていってるでしょう」

彼女の唇の端は少しだけ釣り上がつている。

二人とも呼吸が苦しくなるくらいに全力で走つている。

走り疲れて倒れ込んだ僕の手から素早くカメラを奪つた彼女はやつと笑う。

「あつ」

彼女の手が慣れた手つきでフィルムを取り出す。まるでパスタか何かのようにスルスルと解けて。

太陽に曝されたフィルムから画像がゾンビのようになに焼けだす。

彼女の満面の笑みは写真には絶対に写らない。

息を整えた僕達は木陰に入る。

そして彼女は、また、新しいフィルムをカメラに入れる瞬間を楽しみにしている。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n6214m/>

ゾンビ映画のように

2010年10月8日23時17分発行